

平成28年度 第3学年 全国学力・学習状況調査結果 (4月19日実施)
 第3学年 練馬区学力調査結果 (6月1日実施)

◆調査結果 (正答率：単位%)

| 教科 | 全国学力・学習状況調査 | | | | 練馬区学力調査 | | |
|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------|--------|--------|
| | 国語 A 主として知識 | 国語 B 主として活用 | 数学 A 主として知識 | 数学 B 主として活用 | 社会 | 理科 | 英語 |
| 豊玉第二中学校 | 80.0 | 69.3 | 64.4 | 44.6 | 51.2 | 50.1 | 67.5 |
| 都・区平均 | 都 76.9 | 都 68.6 | 都 63.5 | 都 45.6 | 区 50.8 | 区 47.8 | 区 66.0 |
| 全国平均 | 75.6 | 66.5 | 62.2 | 44.1 | 55.2 | 53.8 | 61.8 |

【国語】
 「全国学力・学習状況調査」では、国語 A、国語 B ともに全国および東京都の平均正答率を上回りました。概ね良好と考えています。特に国語 A では、全国平均正答率を4.4ポイント上回っており、正答率が80%となりました。知識面については、本校生徒に十分力が付いていることが明らかになりました。国語 A、国語 B の結果を評価観点別に見ても、「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点において、全て全国平均正答率を上回っています。

【社会】
 「練馬区学力調査」では、練馬区の平均正答率を0.4ポイントだけですが上回りました。しかし全国平均正答率を4ポイント下回っています。問題内容別に見ると、「日本の地域構成」「身近な地域の調査」で、ともに全国平均正答率を約10ポイント下回っており、課題があることがわかりました。評価観点別に見ても、「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断・表現」の2観点で、全国平均正答率を5～8ポイント下回っており、今後、授業改善を進める上で十分留意していかなければなりません。

【数学】
 「全国学力・学習状況調査」では、数学 A は全国および東京都の平均正答率を上回りました。数学 B は、全国平均正答率を0.5ポイント上回りましたが、東京都平均正答率を1ポイント下回っています。数学 A の結果から、知識に関しては概ね良好であると考えています。数学 B の結果を領域別に見ていくと、「数と式」「図形」「関数」については全国平均正答率を上回っていますが、「資料の活用」で全国平均正答率を3.6ポイント下回っており、課題があることがわかりました。今後、少人数指導の中で力を十分入れていきたいと考えています。

【理科】
 「練馬区学力調査」では、練馬区の平均正答率を2.3ポイント上回りました。しかし全国平均正答率を3.7ポイント下回っています。問題内容別に見ると、特に「電流とその利用」で全国平均正答率を5.3ポイント下回っており、課題があることがわかりました。評価観点別に見ると、「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」の3観点で、全国平均正答率を約2～5ポイント下回っていますが、「観察・実験の技能」については、全国平均正答率を2.9ポイント上回っています。これらの点を十分踏まえ、今後、授業改善を進めていきます。

【英語】
 「練馬区学力調査」では、練馬区の平均正答率を1.5ポイント、全国平均正答率を5.7ポイント、それぞれ上回っています。概ね良好と考えています。問題内容別に見ても、特に「長文の読み取り」「単語の並べ替えによる英作文」「場面に応じて書く英作文」で全国平均正答率を約5～13ポイント上回っており、日々の指導の成果が現れています。また、評価観点別に見ても、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」「言語や知識についての知識・理解」の全ての観点で全国平均正答率を上回っています。今年度からスタートした少人数指導を充実させ、更なる学力向上を目指します。